

# 第1回 釧路市中心市街地活性化協議会 議事録

日 時：平成24年6月21日（木）10：30～

場 所：道東経済センター 3階 研修室

出席者：構成員（21名）タウンマネージャー等（2名）協議会監事（1名）

オブザーバー・事務局等（22人） 計46名出席

次 第：1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議 事

(1) 委員・オブザーバーの変更について（資料1）

(2) 平成23年度事業報告並びに収支決算報告について（資料2）

（監査報告）

(3) 中心市街地活性化事業推進スケジュール等について（資料3）

(4) 役員改選について（資料4）

(5) その他（資料5）

・釧路第一商店街（振）認定補助事業について

・再開発事業手法について

4. 閉 会

1. 開 会

《事務局》

開会を宣す。

2. 会長挨拶

《会長》

中心市街地活性化基本計画策定に向けた素案について、基本的事項については理解をいただき進めているが、具体的に北大通地区を想定したハード事業として、都市再生の実現と中心市街地活性化推進に向け、修正素案を作成し収支計画等を検討してきた。今年度は、事業運営主体、核テナント等さらに具体的な体制づくりを進めていかなければならないと考えている。本日は、昨年度事業報告並びに決算報告についての審議および23年度の事業推進スケジュールについて検討をお願いする旨説明し挨拶とした。

規約13条3項により山本会長が議長となり、議事を進行する。

3. 議 事

(1) 委員・オブザーバーの変更について

《事務局》

資料に基づき、変更となった方が紹介された。

《議長》

本件について議場に諮ったところ、異議なく全会一致で承認された。

(2) 平成23年度事業報告並びに収支決算報告について（監査報告）

《事務局》

資料に基づき、報告された。

《監事》

監事を代表し、監査報告がされた。

《議長》

本件について議場に諮ったところ、異議なく全会一致で承認された。

(3) 中心市街地活性化事業推進スケジュール等について

《タウンマネージャー》

平成 23 年度第 3 回協議会で承認された市街地再開発素案修正案について再度説明がされ、平成 24 年 6 月 5 日現在の地権者の人数及び事業に対する賛同者数、また事業への資本参加、土地の無償提供による参加などの参加合意状況について報告された。

また、アドバイザーによる継続指導については、平成 24 年 4 月 20 日に「再開発事業計画積算数値検討について」指導を受けたことが報告された。

検討課題として挙げられていた北大通商店街の駐車帯設置については、厳しい実現性と課題解消の見込みが立たないことから、一端、検討項目から外すこととするが、内部で検討を続けることが説明された。

続いて、中心市街地活性化事業推進スケジュールについて、検討している複合施設の 1, 3 階はある程度固まりつつあるが、核店舗、テナント等は引き続き交渉が必要であり、8~9 月に一定の目途をつけたい旨が説明された。

〈質疑応答〉

《観光・交通》

- ・意向調査の賛同者である 66 名は、事業に対し具体的にどこまで同意しているのか。
- ・北大通の駐車場について、足りているとの調査結果であるが、市民や観光客は駐車代を払って出掛けるといふことに抵抗があると考えられる。現実として北大通の全ての車線が車で埋まることは考えにくく、実証実験として駐車帯を設け、利用客数や料金体系などを考えていくことが必要ではないか。

→ 《タウンマネージャー》

- ・再開発事業を推進していくことに対しては 66 名の賛同を得ているが、資本や土地提供、テナントとしてなど事業への参加は 60 名が意向を決め兼ねているといった状況。
- ・以前検討した結果、設置費用が課題となった経緯があるが、内部では検討を続けていく。

《市民団体》

- ・幣舞橋かいわい市民会議が主催するシンポジウムが開かれ、改めて日本銀行釧路支店移転後の跡地保存などについて理解を深める機会となった。中心市街地の活性化に繋がりたいと考えており、ぜひ関係者に協力をお願いしたい。

→ 《釧路商工会議所》

- ・当所の観光サービス部会において、同様の課題に対し取り組みを行っており、日銀跡地の活用については当所からも活発な意見交換をお願いしたい。

(4) 役員改選について

《議長》

本年は役員の改選期となっており、規約第 10 条に則して会長より役員案を発表する旨を議場に諮ったところ、了承が得られたため、役員案が配布された。

役員案に基づき、前期に引き続いて現役員に留任いただく旨が説明され、議場に諮ったところ、異議なく全会一致で承認された。

(5) その他

- ・釧路第一商店街振興組合認定補助事業について

《釧路第一商店街振興組合 理事長》

中心市街地の現状について説明するとともに、大型空き店舗の一つである「イーストウィンビル(旧オクノビル)」の 1 階を有効活用し、地域住民の交流、冠婚葬祭、その他専門店の出張イベントなど各種イベント実施場所として機能させることで、商店街への来街者の増加と、賑わいや経済活力の向上を図ることを目的とした事業を検討しており、今年度、

中小企業庁の補助金採択を得ることができた件について報告、出席者へ支援と協力をお願いし、挨拶とした。

《同振興組合 専務理事》

①(株)釧路第一商店街 事業概要説明

現在考えているメインの事業として、「イーストウィンビル」1階を、「幣舞ふれあいホール」として整備し、8月中のオープンを予定していることが説明された。

②釧路第一商店街振興組合 事業概要説明

現在考えている事業として、商店街の各個店の専門性を活かした出張イベントや、個店毎の店内イベント、また同ビル6階を震災時の緊急避難所とするために防災備品の整備を行うこと、その他各個店の情報発信などを行うことが説明された。

・再開発事業手法について

《タウンマネージャー》

協議会で計画している釧路市北大通地区における再開発事業の手法変更の提案について、釧路市の再開発を取り巻く社会条件が、消費者の購買意欲の低迷、地権者の事業継続意向の低迷、テナント等の事業者の投資控えなどの傾向にあることを勘案し、事業の目途が立ち次第速やかに活用できる支援制度の利用を考えた結果、当初利用を考えていた「第1種市街地再開発事業」に限定せず、「暮らし・にぎわい再生事業」を同時に検討することとした。「暮らし・にぎわい再生事業」については支援内容がハードからソフトまで幅広いこと、社会条件や民間需要の変化に対応しやすいこと、事業性を重視した補償や地権者のニーズに柔軟に対応できること、他省庁と連携して総合的な中心市街地活性化に取り組みやすいこと等の利点が挙げられることを説明した。

《議長》

予定されていた議案審議が終了し、質問が求められた。

意見等はなく、議事の終了が告げられた。

4. 閉 会

《事務局》

閉会を宣する。

以上